

2019（令和元年）第11回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年11月20日（水）
 開 会 15時00分
 閉 会 16時45分
 場 所 横田庁舎 三階 第二委員会室
 出席委員 福田充雄教育長職務代理者 荒金勇吉教育委員
 谷尻圭子教育委員 高橋美奈教育委員 塔村俊介教育長
 委員会事務局 堀谷智樹教育魅力課長 永瀬克己結婚・子育て応援課長
 長谷川史郎教育魅力課長補佐

（挨拶）

塔村教育長

- ・再編方針・改築事業見直し案の例示について
 ＊標記について、数回にわたり教育委員さんにご意見をいただくことをメインの議題と予定している。
- ・ホッケー事前キャンプ誘致について
 ＊先月末～今月初旬にキャンプ招致委員会委員長としてインドを訪問。11月初めに最終予選が行われ、男女ともオリンピック出場決定。在日日本大使館やインドホッケー協会を訪問し、キャンプ誘致についてプレゼンテーションを行った。年明けくらいを目途に誘致について最終的な返事をいただく予定。
- ・島根県の状況について
 ＊島根創世計画に伴い、大規模事業の見直しが行われる。教育関係は、大きく2点あげられている。1点目は、島根県独自の小学校1・2年生の30人学級、小学校3年生から中学校3年生までの35人学級の見直し、もう一点は、学校司書等を配置する際に島根県の補助金で行っている子ども読書活動推進事業。町村教育長会、島根県教育委員会連合会、校長会等で知事、教育長、議長等への要望活動も行いましたが、現在の状況は厳しい。現状の制度がこのまま維持されるのは難しいという話を聞いている。
 ＊奥出雲町に及ぼす影響は、仁多中学校に40人未満の学年あり。仁多エリア横田エリアで若干39人や38人という世代が今後出てくる。さらに先は、横田エリアで35人を割る学年も出てくる。学年の人数は変わらないのに、2学級から1学級になるというケースが想定される。学校現場では、先生が1人減るということになる。中学校は特に先生が少ない状況。現場に及ぼす影響を含め、もう少しいい形にならないか継続して要望していきたい。
 ＊読書活動推進事業の司書配置については、現在、奥出雲町全小中学校に司書配置が叶ったところ。今後財政担当課との折衝もあるが、町の負担が仮に増える

	<p>ことになっても現行制度を維持する方向性で行きたいと考えている。これについても予算の段階。状況が変わることがあるので、また協議させていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の新年度予算編成方針について <ul style="list-style-type: none"> *前年度並みでの抑制が今年度示されている。雲南市はマイナス５％で、去年もマイナス４％か３％。奥出雲町も厳しい状況の中、まずは前年度並みという中で、既存事業の見直し、入れ替え等をやってなんとか財源を保つという所を目指している。 ・大学入試制度の英語民間試験見送りについて
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学級人数４０人引き上げは時代逆行。道徳が教科化される、英語はやらないといけない、中学校の英語の教員が足りない、中学校の英語の教員が英語を話せないなどの状況のなかで、国も県もお金をつけない状況では学校再編もなかなか親（保護者）に認めてもらえない。教育行政に対する不信感がでてくるのが非常に怖い。県の教育関係の団体を挙げて反対すべきで、本当は３５人学級を３０人学級まで引き下げる状況にすべき。日本ほど国が教育にお金をかけない国はないと世界的に言われている。可能な限り４０人学級はやめてもらうように是非交渉してもらいたい。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係団体すべて断固として認められないという声が出たが、県の教育委員会の説明は先ほどの話のとおり。知事が替わられたのが大きな要因だと思う。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一時は３０人学級になるのではないかというような雰囲気があったが、一挙に変わったのか。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の話になると、（県）教育委員会は（現状維持が）厳しい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教育は大事だと言いながら、昔から教育委員会は一番お金がない。仁多中は４０人学級になると教員が２人減る。１学級減って１人減るならまだしも、１学級減って２人減るということがこれから先あり得る。特に小学校の複式になれば２人減る。子どもの数も大事だが、教員の数を揃えないと教育の力は落ちていくと思う。
塔村教育長	<p>※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言</p> <p>※会議録署名委員 福田委員</p>

事務局	<p>《議事》</p> <p>①報告第9号 三成小学校改築事業の見直し状況について（経過報告）</p> <p>資料より説明</p> <p>* 9月臨時会で三成小学校改築事業の凍結、それに伴う校區別協議休止と、来年2月を目途に再編方針の一部修正を行って進めたいと説明をした。新聞報道されたように改築の計画として仁多中の隣接地で課題を解決して行う、あるいは新たな場所での改築、現在の三成小学校の敷地の中での改築、この3つについて今後検討を重ねベスト・ベターな案を模索し、再編方針一部修正に繋げたい。</p> <p>（3つの例示資料により説明）</p> <p>例示1＝当初予定地（仁多中隣接地）</p> <p>例示2＝仁多中学校周辺で当初予定地以外の場所で土砂災害の期限が少ない場所</p> <p>例示3＝三成小学校現敷地</p>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的な状況は、費用面は特に厳しい。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校は、子供の人数を考えると広さが必要。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・（仁多中隣接地は）義務教育学校を目指せるという点では利点だったが、中学校をどうするのかということが整理できないと、義務教育学校と小学校が両方あるというのは矛盾する。中学校は残すということであれば、大きく進んでいくと思う。両方残してほしいという方向で進んでいるかというところでもない。連携型の中学校を目指していくという方向性はあるが、今回のタイミングで進めるのは難しい。中学校の再編もセットで進めるべきという意見も出ると思うが、義務教育学校を目指すのであれば、小学校1校、中学校1校が地域に残り、それが一体化して義務教育学校となってという姿が描けないとおかしい。中学校を一本化するのか、2つ残すのかということは議論が分かれるところ。旧町の真ん中に1校作るのならまだしも、賛成・反対で議論するわけにもいかず出口が見えない。中学校の議論は大きな方向性をまず出してから進めることになる。どこになっても恨みっこなしでしないとなかなかできない。かなりの時間が必要になる。ただ、小中の義務教育学校の効果もまだ検証しないといけない。小中の連携は別々の校舎に建てても進めていかなければいけない。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまで話がきているのに、また（再編時期が）延びるということか。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・再編のタイミングは、次の議論になる。仮に仁多エリアで「来年度1年間議論して（意向を）決め、その後2年間、再編準備期間を置く」と仮定した場合について、校舎整備を伴わない横田エリアは令和5年4月が最短での再編となる。横田地域は令和5年4月を目指し、仁多地域は校舎ができていないので校舎完成の令

	<p>和6年4月を目指す、など再編時期がずれることが良いのか悪いのかというところも今後の議論として出てくる。</p>
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他に候補地は無いだろうか。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・例示2について、他のエリアに行けるかどうかという問題があった。通学時間を考慮し中心とした。例えば、「亀嵩小学校（を再編校とする）がいいのではないか。安全で校舎も新しいのではないか」という考えもある。しかし、阿井から通うとなると三成からプラス15分となり難しい。通学しやすい場所を考えるとほとんどが連坦地にかかるか、山を削るしかない。山を削ると費用の問題がかなりかさむ中で、平地を探すと適した場所が少ない。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉は難しい。長引く恐れもある。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯上の問題というのはどういったことか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現三成小敷地は、この敷地の図面で3カ所くらい自由に出入りできる、それが職員室から確認できず、防犯上問題がある。それならば職員室から分かる場所に移転した方がいいという説明をさせていただいている。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校敷地に向かって家を建てている人は、校庭を通して自分の家へ入れる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道として（学校敷地を）使っている人もいる。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の例示では、ブロック塀等を設置するという説明になると思う。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・正門は役場側になる。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現三成小学校はどこからでも入れる。防犯上問題がある。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀をかなり長く設置することになると思う。家との間は高いフェンスを立てている。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・では、別の候補地に建てるか。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・本当は別の問題（であると認識している）だが、別候補地にすれば校舎や体育館の他に、プールも建てろという話になると思う。現実的には検討、交渉、工事期間が長期間必要になる。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・当初案に戻すとしても、レッドゾーンをきちんとできるかどうかという不安があ



	る。
塔村教育長	・（法面对策などをして）イエローゾーンはどうしても残る。
福田委員	・ 中学校の技術棟が小学校の敷地になっている。中学校の裏にもなるということを考えると、うまく校庭にならない。
谷尻委員	・ 技術棟はどこかに移せないのか。
福田委員	・ 技術棟を移すのであれば、またお金がかかる。
塔村教育長	・ 補助金を返還しないといけなくなる。
谷尻委員	・ 山の法面を削っても、レッドゾーンになるのか。
塔村教育長	・ レッドゾーンは下がる。下がるが、そこはレッドゾーンに残る。
谷尻委員	・ 山をまるごと崩したらどうなるか。
福田委員	・ 崩せという話になるとかなり大変だと思う。
谷尻委員	・ 元々削りながら広げてきたところではある。
塔村教育長	・ 今までもある程度なだらかな所を取りながら埋めながら作ってきた。
福田委員	<p>・ 中学校のところ（例示1）は課題があって難しいと思う。</p> <p>・ 小学校はもうちょっと開かれたところが望ましい。現三成小学校がもう少し広ければいいかなと思う。今の名前は三成小学校云々になっているが、最終的に統合小学校を造ることが目標であって、三成小学校という話であったら統合の話はまた難しくなるかなという気がする。</p>
高橋委員	・ 事業凍結になった時に「どうして協議会をやめてしまったのか」ということをみんなに言われた。
谷尻委員	・ 協議会は進んでいるんですよね。
事務局	・ 教育委員会と地区との協議は中断している。
福田委員	・ （自主的に）立ち上げた地区（の協議）は止められない。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内での（自主的な）協議は止めていない、ということは伝えている。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ それを止めるのはまずいと思う。止めないで1年かけてでも協議して、あれこれ思ったけど統合した方がいい、しない方がいいという意見を決めてもらった方がいい。問題意識を持っているのだったら、持ってもらうためにも少しずつ前に行くような協議は進められた方がいいと思う。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議するにも、ある程度のものが見えていると話ができるけど、次どのようなものが出てくるか分からないのに良いも悪いも言えない。ただ、要望事項は言えるかもしれない。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の人数が減るから、今これからこうなるという話は、一年ごとに大きくなる。子供を見ている保護者にとっては、小学校に入ってから初めて聞くという雰囲気ではなく、積み重ねていかないといけない気がする。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会がなかなか立ち上がらなかった地区があった。立ち上がった地区については、止めたとしてもある程度自主的な所がある。どうしても立ち上がらない地区については、止めない以上立ち上げていかないといけない。ただ内容については、先が見通せない中で、なんで始めないといけないのかという不満が大きい。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先が見通せないとは、少人数でクラスを編成していくのか、みんなで集まっていくのかというのが元々で、後者のことだったが。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それで前向きに話し合っていく環境なら（自主的な協議は）出来ると思う。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ という話し合いを止めなくていい気がする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再編方針の中では、「2022年4月に両地域が、同じタイミングで統合する」という方針を提案した。しかし、それがどうなるかが不明となった。私見になるが、おそらく横田地域は1年ずらして目指すという話になると思うが、「再編方針は総合教育会議で決定したものを説明する」という前提があると認識してる。方針修正の可能性がある中で、当初方針のままで協議を続けるのは難しいと判断した。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いたい人にとっては、なにも障壁はない。反対や話し合いたくない人にとっては、そういったことばかり協議会の場で言い続けることができる。例えば、「何も決まっていないのに会議ばかりしてしょうがない」と（再編反対の立場の方は）言い続ける可能性がある。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ そういったことを言う人がいるかもしれないから（協議を）しないということか。

塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような発言はあるだろうと想定しているが、(そのような発言がでること、ではなく、) そのような協議が続くことによって、方針修正後に(その校区の関係者が) 話し合いに向かうことができなくなることを恐れている。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・親として自分の子供にどういう教育を受けさせたいか、受けさせてもらえるのかという思いを持っていた時に、『これだけの人数で6年間を過ごすのか、これでいいのかな』と思った人がこの問題が起こった時から多くなってきていると思う。突然、統合したいから今から話し合っというやり方ではなく、どこに小学校ができるか分からない、統合なのか単独なのか分からないが、こういう子供に育てるためには子供の人数はこれぐらいいてほしい、そうなるとこっちとこっちが一緒になった方が良いというような。問題提起は続けながら、話をその都度して投げかけた方がいい気がする。それは幼稚園の保護者に向かってでもいい。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・始めのスタートがやっぱり難しい。何のために何を話し合うのか。例えば三成は続けているが、話し合いが難しくなっているというのはある。強制的に止める必要はないということは、言われる通りだと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・有志で集まって協議を進め、要望書を提出された地区もある。今までの進め方や、今後の進め方についての要望書をいただいている。各地域で進められるところは、進めていただきたいと自治会長会の会長には9月に伝えている。 ・校区の方と教育委員会という立場で協議をする時に、これはどうなるか、こうしてください等の質問、要望は聞くことはできる。ただ、こちらからは方針が変わる可能性があるため、協議できない。本日の資料を仮定として出して協議したとしても、誤解の恐れがある。何も決めないまま「地元で意向をまとめておいてください、平行してこちらで改築場所を決めます」と言っって、地域が再編に同意すると言った時に「場所はこちらに決まりました」と言っっても、校区の方は「話が違う」ということになりかねない。ほったらかしにしている訳ではない。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ほったらかしにしている訳ではないということが伝わってこない。みんなチャラになったのか、どうなったという感じになっている。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに通うことになったとしても、やらないといけないことはやらないといけないということを前提に置きながら、今議論をするにも何を議論すればいいのかというところがある。統合した方がいいというためには、「奥出雲としてどういう教育を子供たちに進めてやりたいのか」「学校教育として奥出雲の子供を育てる柱はどこにあるのか」が見えるようになってくると人数ばかりの話でなくなる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の人数より教員の人数が心配で教師集団を大きくしないと、これからの教育は厳しくなると思う。一方で、教師の人数を増やして学級の人数を減らすことをやっていかないといけない。要するに「統合した方がいい」と思うための資料がない。保護者は、場所はさておき、出ないといけないということは分かっている。そのためには、学校の位置よりもどんな学校を作るのか、その議論を示してほしい、というのが保護者の切なる願いであると思った。それを見せない、議論してもらえないと思う。それと、じっくり話をさせてほしいという希望があった。いずれにしても保護者が子供を育てるためには、「今のままではいけない」と思わないと再編の話は非常に難しいと思う。再編してでもやらないといけないとなった時に、初めて校舎はどんな校舎なのかという話が出てくるのであって、良い環境の校舎を造ってほしいというのが保護者の願い。要望書を提出した地域では、協議会は最終的にきちんとしたものにして議論はしていかないといけないということになった。ただ、検討材料をもらわないと検討が出来ないという意見もある。議論するには良い時期であり、議論しないといけない雰囲気ではある。 ・中学校が先だという地域もある。中学校もやりだすと部活を統合するかという問題も出ている。教育長も言われるように義務教育学校をイメージすると中学校が先だという話になる。なので、今回は義務教育学校をとっておかないといけない。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・その整理はしないといけない。学校再編のメリット、どういう学校をどういう教育を目指していくかというのを奥出雲町全体のところもある。小さくても大きくてもできることもあると思うし、授業を見ていただければ分かると思うが、ある程度の人数がいる中でいろんな意見を交わしながら授業を学んでいくということは、今から生きる中で一番大事、必須であるということのメリットを伝えていかないといけない。現時点では（複式でも）できなくはない環境なので、そこを分かっていたことが非常に難しい。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・（複式で）今できないのかという話になる。複式を長い期間やってきていて、それでいけないのかと言われる。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・いけないことはないが、三沢にしても高尾にしても鳥上にしても出来ないことが多いことは確かである。これではダメなのかというと難しい。
谷尻委員	<ul style="list-style-type: none"> ・（複式で）頑張ってやっているが、何がいけないかとくる。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・それが保護者の意識の違いだと思う。三沢、高尾、鳥上の保護者はそれを見てるので、身をもって感じてもらえる。八川は来年度2学級増える見込で、完全単式化になる今のタイミングでは、再編の必要がないのではというのはその通りだと思う。何年か後に本当に厳しくなってきたときに必要だろうというのはあってもいいと思う。

荒金委員	・現三成小学校の場所でもう少し広げていくことを考えられないか。
塔村教育長	・一気に買収は無理だけど、タイミングがあれば少しずつでも広げていくことは可能。しかし財源の問題はある。
荒金委員	・どれも夢がない。イメージ的に無理矢理に中学校との義務教育学校にするべきという姿が見えなくなっている。それより「町中であって将来的に校舎は建てるけど、校庭は広げていきたい」というのがいい。学校だけでなく三成の地域をいろんなものがある町にしていくという夢まで語れるようなものであれば、やろうという気持ちになっていくのでは。
塔村教育長	・当初は、三成小学校に行く抵抗感が強いだろうというところがあったが、逆の意見もあった。亀嵩の人から『なんで（現）三成小学校の場所ではいけないのか』という話もあったりした。やっぱり最低限の教育環境がないといけないし、学校の建物も敷地も教育場も一緒になって作っていくというイメージを持っていただくことが大事だと思う。一方で、横田地域は横田小学校で何も変わらない可能性もある。そういったことも含めて整合性をとらなければいけない。まずは再編の議論を進めていきたいと思います。それで再編せずに単独で残っていくということであれば、何らかの耐震対策は必要だろうということは出てくると思う。ただ、選択を与えている限りは、かたや大きい校舎を作って、かたや耐震化をしてということとはなじまないと思う。
福田委員	・耐震化より建て替えを要望する地域も出てくる。
塔村教育長	・現実的には、その選択は避けなければいけないと思っている。ここ10年、亀嵩小から始まったところへの整合性がとれなくなっているのが根本にある。順番が遅くなっただけという気持ちが分からなくもない。
福田委員	・地元の協議会を進める上で、お金がないという話が出た。意識調査をカラー印刷でやっていて、お金が出ないのかという話になった。来年度は教育振興会なりいろんな所から少しずつでも予算をつけないといけないし、町も考えてくれるかもしれないが、今年は協議会の役員が自前でしていたと思う。
塔村教育長	・ちなみに、今日提案した例示以外の案があると思われますか。我々が発想していないことであれば。亀嵩小学校はレッドゾーン、イエローゾーン関係ないが、通学時間の問題だった。
福田委員	・亀嵩小は思いつく。ただ通学時間が長くていけない。時間的なことを考えるとやっぱり三成になる。特に小学生の通学時間は長いと耐えられない。最小限の時間

	<p>で行けるところでないといけない。そうしたら三成でしかない。今の三成小かどこかに求めるか、多分仁多中は評判が悪いと思う。三成小学校の土地は町有地になっているのか。</p>
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・以前だいぶ買い取りをした。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ私有地が残っているのか。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・今はほぼ町有地になっている。
福田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現三成小学校の場所以外では、三成連坦地でなかなか場所がない。
塔村教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・正直、中学校への移転は難しいと思う。グラウンドの事を考えると。横中も仁多中も良いグラウンドがある。また、途中でもかまいませんのでご意見あればお願いしたい。
事務局	<p>※その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度後期学校訪問について ・東京2020大会に係る聖火リレーの実施について（案） <p>< 次回定例会は12月18日（水）午後3時～ ></p> <p style="text-align: center;">会 議 録 署 名</p> <p style="text-align: center;">   </p>